



原点は「なにより、いのち」
**くらし・平和を守る
 政治をつくる**

前中野区議会議員

ひろかわ
広川まさのり

日本共産党

プロフィール ● 1980年 兵庫県神戸市生。兵庫県立西宮北高校卒。米・インディアナ州のエバンズビル大学(現代美術専攻)卒業後帰国。映画助監督を経て、レコード会社に映像作家として7年間勤務、その後独立。15年の中野区議選で初当選、19年の区議選で惜敗。現在は党中野地区委員会勤務。「羽田空港新飛行ルート中止を求める中野の会」事務局、「中野南部九条の会」運営委員など、市民と野党共闘に奮闘。家族は妻と2女。趣味は読書・旅行・バイク。



地域の願いを実現

区民とともに

力を合わせてきた4年間



党区議団は酒井区政の与党として区政前進に力を尽くし、この4年間にさまざまな施策を実現することができました。区民の願いと議会の論戦が合わされば、政治を大きく動かすことができます。

保育園の待機児童ゼロ達成

保育園の誘致を進める中で昨年、待機児童ゼロを達成しました。保育士の配置基準を引き上げ、保育士一人当たりの子どもの数を減らして、子どもに目が行き届く保育ができるよう求めています。

暮らしと営業を守る

物価高騰から区民の暮らしと営業を守るために、影響の実態把握と介護・障害者・子ども施設への光熱費や食品など運営費支援を求め、実現させてきました。子育て世帯に対する所得制限なしの給付金を実施させるとともに、低所得世帯への中野区独自の給付金支給のために粘り強く取り組んでいます。

区立保育・幼稚園、児童館 存続



酒井区長に対して、要望書を提出。

前区政による、区立保育園や幼稚園、児童館の全廃計画を酒井区長とともにストップ!「子どもの施設を守って」という区民の声を政治に反映することができました。「区有施設整備計画」で全廃方針が正式に撤回されました。

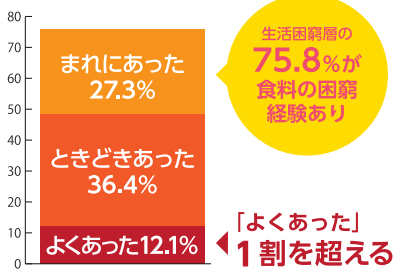
介護保険料の値上げを止めた

介護保険制度が始まって以来、保険料基準額は一人あたり年2万円以上の引き上げです。3年に一度改定される保険料が毎回引き上げられてきましたが、2021年にストップさせました。保険料の引き下げとサービスの充実を図るよう引き続き提案していきます。

子どもの貧困 実態調査実施

党区議団は、「子どもの貧困調査」を繰り返し提案し実施へ。調査結果がベースとなり、就学援助費基準の引き上げや、子ども食堂支援、ひとり親世帯支援、学習支援など、区の事業展開へ実を結びました。現在、「子どもの貧困対策実行計画」を含む「子ども総合計画」の策定を行っています。

食料の困窮の経験について
 中野区生活困窮層 小学校高学年



生活困窮層とは：①低所得②家計の逼迫③子どもの体験や所有物の欠如、のうち2つ以上の要素に該当する層
 出典：中野区子どもと子育て家庭の実態調査報告書

新型コロナ対策の拡充

新型コロナウイルス感染症についての相談は党区議団に数百件寄せられ、2020年に行った区民アンケートには4500名以上から回答が寄せられました。党区議団は医療機関や介護事業者などとも懇談し、実態に基づいて、中野区独自の給付金支給やPCR検査の拡充、安全で迅速なワクチン接種、事業者への支援を繰り返し求めてきました。

区民アンケートの
声
 議会へ届け
 対策迫る



**子ども・子育て施策
 前進を**

待機児童解消、区立保育園・幼稚園・児童館の存続、医療的ケア児と家族への支援、子どもの貧困実態調査など、議会でも繰り返し取り上げ、実現してきました。



**区有施設の跡地活用は
 住民参加で**

「日本町図書館」「旧向台小学校」「旧新山小学校」の跡地は、大事な区民財産です。活用については住民参加による検討を求めます。

